

平成 25 年度第 2 回周南市行政改革審議会会議録

- 日 時 : 平成 25 年 7 月 22 日 (月) 18 時 00 分～19 時 45 分
- 場 所 : 周南市役所本庁 本館 2 階 第 2 応接室
- 出席者 : 行政改革審議会委員 9 名
- 事務局 : 久村室長、道源主幹、末次室長補佐、深海主査、齊藤主査、久行主査
- 傍聴者 : なし

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 第 2 次周南市行財政改革大綱実施計画の実施状況について

○会長 第 2 次周南市行財政改革大綱実施計画の実施状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局から、内容説明)

○会長 最初に確認するが、今回の意見等を含めた協議の結果は、市長とも協議したうえで、行政改革推進本部にかけられるということによいか。

○事務局 そのとおり。今回お示ししている指示事項等は固まったものではなく、本日の審議会でもいただいた意見を参考に、市長とも再度協議し、行政改革推進本部にかけるとしてあり、さらに、その協議結果については、委員に再度お示しをすることとしたい。

○会長 事務局からの説明に対し、質問等がある方はお願いします。特に、本部指示事項案をたたき台として意見を頂きたい。

○委員 実施項目 4.4 「男女共同参画の推進」について、これには目標を含めて市役所の事だけが書いてある。これに意味があるとは思えない。委員会等への女性の参画だけではなく、問題は社会全体がどうなのかということである。特に地域における女性の参画が重要である。また、本部長指示事項案には、審議会等への女性委員就任の働きかけについて書いてあるが、市役所内部の取り組みに限定される指示事項でよいのか。

○事務局 委員が言われるとおりである。役所内部だけでできることが書いてある。社会全体としてこういった目標が適当なのかという指摘があったことは、伝えたいと思う。

○委員 ある企業では、業務等の業者選定の条件の中に、女性の役員割合という項目を設けていると聞く。同様のことを数値目標として設定することも可能ではないか。

○事務局 そこまでやるためには、所管の取り組みを含め改革が必要。意見については、市長とも協議したい。

○委員 項目10「公共料金納付方法の拡大」のコンビニエンスストアでの公共料金の納付について、取扱手数料がかかると思うが、どの程度か。

○事務局 他市の例では1件60円程度と聞いている。

○委員 コンビニエンスストア以外のスーパーマーケットも取り組めば良いのではないか。

○事務局 現在はコンビニエンスストアが主流であるが、条件を整えば可能と考える。

○委員 項目15の「新たな定員適正化計画の推進」について、職員の削減数を指標としているのは意味がないと思う。効率化が大切であり、職員数を減らした結果、残業が増えたのでは意味がない。人が減ったから効率化が進んだという尺度は違うのではないか。効率化の尺度なら、業務にかかる人時数が減ったから効率化が進んだという見の方がよい。

○事務局 合併前の旧市町で行ってきたまちづくりに必要な職員が配置されてきた。その結果として他市に比べて職員数が多い部分もある。人時数を減らすなど効率化の取り組みも必要であるが、職員数を圧縮する取り組みも併せて必要となっている。その他、外部委託を進めていかななくてはならない。

○会長 指示事項としては、人件費圧縮は不可欠であるということになるのか。

○事務局 所管部としては、今後の年金受給年齢の引き上げに伴う再任用の問題や、職員のメンタルヘルスの問題もあり、職員数1350人まで減らしていくことは困難な状況にあると思っている。しかし、そのような状況だから単に目標達成が厳しいということではいけないと考える。

○委員 実施計画は誰のために、何の目的で作っているのか。市民のためか、職員のためか。

○事務局 行財政改革大綱に掲げた目標を実現するための手段が実施計画であり、職員にとっては指針となるもの。ひいては市民のためのものである。

○委員 行政改革推進本部指示事項とは、本部長である市長の指示ととらえてよいか。そうであれば「本部指示」とあるところを「本部長指示」とすることで、指示も明確となり、責任の所在も明らかになる。

○事務局 本部指示事項とあるが、あくまでも本部長指示である。項目名を「本部長指示事項」と修正する。

○委員 本部指示事項を見ていると、当たり前のことが書いてあるものも多い。これらについては、わざわざ指示事項を書かなくても良いのではないか。本部長として特に言いたいことに限定して指示を出してはどうか。

○事務局 委員の言われるとおりであり、今後実施するサマーレビューで、さらに特出しできる指示事項について検討する。

○会長 特出しが必要でない事項については、「所管課対応方針のとおり」と記載するか、全体で総論に記入する等の対応を取ることでよいと考える。

○委員 実施項目33「公共施設再配置の推進」に関し、施設白書に関するスケジュール管理はどうなっているか。

○事務局 市議会の「公共施設再配置計画に関する調査特別委員会」で説明をしたスケジュールであるが、その際、まずは施設白書の作成を優先し、施設白書を作ってからでないと次に進まないとも説明した。さらに、現在、進捗が遅れていることについても、先日議会には説明を行ったが、市民への説明は行っていない。中途半端な白書は出したくない。

○委員 施設白書ができないと、再配置計画策定自体が遅れることとなる。そのことを心配している。

○事務局 再配置計画の3月作成を目指している。しかし、計画も必要であるが、実際にどの程度公共施設の減量化が実現するかも大切だと思っている。より実現性のある計画にしたい。

○委員 施設白書の作成と並行して、公共施設の再配置、特に先に市民の意見が集中した総合支所等の課題に関して市民に説明していかなければならないのではないか。

○事務局 施設白書を持って市民に説明する。市民もその状況について施設白書を通して把握ができるような内容としたいと考えており、施設白書ができる前に市民との協議を行うことは考えていない。

○委員 策定期間については、本部長指示事項ではっきりさせるべきである。

○会長 委員の思いは事務局にも伝わったと思う。市長にも今回の議論の内容については伝えてほしい。他に質疑はないか。

○委員 実施項目15「新たな定員適正化計画の推進」に関し、第1次行政改革大綱では1470名が目標だった。平成25年4月1日現在の職員数が1397人という事で大変頑張っている。しかし、ラスパイレス指数（H24.4.1現在・一般行政職）については、周南市は109.6となっており、県内では一番高い。何か原因があるのか。

○事務局 ラスパイレス指数は、東日本大震災の復興財源確保のための国家公務員給与減額後の数値と比較されていることと、周南市は地域手当を導入しており、手当加算後との比較で高くなっている部分もある。

○委員 ラスパイレス指数が高いのは、大きな企業が多くあり地域全体の給料が高いから、市の給料も高めになっているのではないか。

○事務局 ラスパイレス指数だけでは単純に比較できないが、定員適正化を含め見直すべき原因があるのであれば、見直していかなければならない。

○委員 全体的なことであるが、事業の目標が達成できなかった場合、どこに原因があったのかが記載されていない。実際に事業を行ってみて目標値が間違っていたとか、事業自体の方向性が違っていた場合もあると思う。

目標値と実績値が乖離した理由をもう少し記載した方が良いのではないかと思う。

○事務局 目標を達成できなかった理由は明確に示す必要はあると思う。できなかった理由については確認していきたい。

○会長 全般的な意見も含め、その他に意見はないか。

○委員 行政改革審議会からも、行政改革推進に対する体制の強化を提言してはどうか。

○委員 行政改革は行政改革推進室だけが行うのではなく、市民も行うこと。だから市長が市民に語りかける必要があるし、市役所全課の応援も必要である。

○委員 再配置計画案を作るのはよいが、それぞれの市民がお互いの地域のことをよく知らないと公共施設の再配置は難しい。そのためにも、市長と部課長が強い共通認識、意識を持つことが大切。それがない限り、簡単にはいかないのではないか。

○会長 最後にいただいた全般的な事項に関する意見も含め、本日の会議内容については、会議録や指示事項の修正案等としてとりまとめると思うが、それらについては、本部に報告する前に会長と副会長が事前に確認したいと思う。その点は、会長と副会長に一任いただいてよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後のスケジュールについて説明いただきたい。

○事務局 次回の行政改革審議会については、行政評価結果の公表との関係もあり、早めに開催したい。また、次回の会議では次期行財政改革大綱の策定に関する意見もお伺いしたい。

○会長 その他、意見がなければ本日の審議会は閉会する。

(閉会)